

# 平成25年度結核予防技術者地区別講習会（九州地区）実施要領

## 1 目的

保健所、市町村、指定医療機関等で結核予防事業に従事している技術者に対して、結核対策に必要な最新の知識と学問の進歩に即応した技術の取得と向上を図る。

## 2 受講対象

- (1) 都道府県、政令市、市町村の保健所、結核予防会に勤務する医師、診療放射線技師、保健師・看護師、その他の者
- (2) 結核の診査に関する協議会委員及び指定医療機関等に勤務する医師・看護師、その他の者
- (3) 開催地において特に参加を認める医師、診療放射線技師、保健師・看護師、その他の者
- (4) 集団健診を行っている委託医療機関に勤務する医師、診療放射線技師、保健師・看護師、その他の者
- (5) 結核対策に興味・関心のある医師、診療放射線技師、保健師、看護師、その他の者

## 3 開催日時

平成25年8月1日（木）9：50～20：30  
8月2日（金）9：30～14：40

## 4 開催場所

- (1) 鹿児島県市町村自治会館  
鹿児島県鹿児島市鴨池新町7番4号  
電話 099-206-1010
- (2) 鹿児島県庁会議室（診療放射線技師対象講義のみ）  
鹿児島県鹿児島市鴨池新町10番1号  
電話 099-286-2111

※ 問い合わせは、鹿児島県保健福祉部健康増進課 感染症保健係  
電話 099-286-2724

## 5 講習会内容

別紙のとおり

## 6 備考

講習会終了後、九州各県・政令指定都市等結核行政担当者会議を開催予定

# 平成25年度結核予防技術者地区別講習会日程表

場所 鹿児島県市町村自治会館, 鹿児島県庁

日 時	講習内容等	会 場	
8月1日 (木)	午前 9:20～	受付	ホール (4階)
	午前 9:50～10:00	開会 開催県挨拶 鹿児島県	ホール (4階)
	午前 10:00～12:00 (2時間)	合同講義Ⅰ 「新しい知見に基づいた結核対策～結核の基礎と最新の知見を中心に～」 講師:公益財団法人結核予防会結核研究所 副所長 加藤 誠也 氏	ホール (4階)
	午後 13:30～16:00 (2時間半)	対象 : 保健師・看護師等 「結核のない世界をめざして～次世代への感染の連鎖を防ぐためにできること～」 講師 : 公益財団法人結核予防会結核研究所 対策支援部長 小林 典子 氏	ホール (4階)
		対象 : 診療放射線技師 「発病予防のための院内感染対策・低線量被ばくの考え方」 講師 : 公益財団法人結核予防会結核研究所 対策支援部放射線学科長 星野 豊 氏	県庁会議室 (予定)
午後 18:30～20:30 (2時間)	対象 : 医師 「結核の臨床」 講師 : 公益財団法人結核予防会結核研究所 抗酸菌部長 御手洗 聡 氏	ホール (4階)	
8月2日 (金)	午前 9:30～11:00 (1時間半)	合同講義Ⅱ 「新しい知見に基づいた結核対策～これからの結核対策を中心に～」 講師 : 公益財団法人結核予防会結核研究所 副所長 加藤 誠也 氏	ホール (4階)
	午前 11:10～12:10 (1時間)	合同講義(厚生労働省) 「結核対策の最近の動向と方向性」 講師 : 厚生労働省健康局結核感染症課 課長補佐 錦織 信幸 氏	ホール (4階)
	午後 13:30～14:30 (1時間)	「結核対策特別促進事業の報告・評価」	ホール (4階)
	午後 14:30～14:40	閉会挨拶 鹿児島県	ホール (4階)
	午後 15:00～16:30	九州各県・政令指定都市等結核行政担当者会議	県庁会議室 (予定)

# ○平成 25 年度保健師・看護師等講義

テーマ：「結核のない世界をめざして～次世代への感染の連鎖を防ぐためにできること～」

## 講義の目的

予防指針で示された新たな目標に向かって取り組みが進んでいます。しかし、依然 85 歳以上の結核患者が増加傾向であり、高齢者の診断・治療が難しい状況です。そのため、日々の生活の場である高齢者施設等で、いかに結核を早期診断し、周囲の入居者や働き盛りのスタッフへの感染を防ぐ体制を構築するかが、問われています。「感染の鎖を断ち切るのは治療、治療こそが最善の予防 (WHO)」であることから、結核の正しい知識と最新の情報を提供するとともに、保健・医療・福祉の更なる連携を図る機会とします。

## 講義内容

### 1. 結核の最新情報と基礎知識

-看護職として必要な結核の基礎知識

#### 結核にかかわる看護職の目標

-結核患者の確実な治療支援（中断防止および薬剤の耐性化を防ぐ）

-有症状者に対する早期発見（高齢者施設など）

### 2. 患者支援 (DOTS) と医療・保健・福祉の連携

#### 1) 早期発見

#### 2) 治療の徹底 (LTBI 含む)

患者教育、院内 DOTS、地域 DOTS や外来での DOTS における医療機関と保健所との連携、コホート分析・DOTS 事業評価など

#### 3) 多職種との地域連携体制の強化および地域連携パスの取り組み

### 3. 院内施設内感染防止対策

### 4. 事例等参考資料添付

# ○平成 25 年度診療放射線技師講義

テーマ：「発病予防のための院内感染対策・低線量被ばくの考え方」

対象者：

診療放射線技師

- \* 本庁、保健所、一般病院、結核予防会支部、一般検診機関に所属している職員
- \* 結核対策に従事する事務職員、臨床検査技師、薬剤師、保健師等の受講も可能です。

講義の目的：

「発病予防のための院内感染対策」

病院や検診機関、本庁や保健所で働く診療放射線技師（技師）を主な対象とし、結核および結核対策の基礎的な内容を踏まえながら、発病予防のための院内施設内での感染対策のあり方について判りやすく解説します。特に自治体の結核対策を担っている技師に対して、IGRA 検査、日本版DOTS 戦略、結核症の胸部エックス線写真所見、院内施設内感染対策、効果的なハイリスク対策など、最新の情報を実務に即応した内容でお届けします。

「低線量被ばくの考え方」

2011 年 3 月に発生した東日本大震災により東京電力福島第一原子力発電所が被災し、環境中への放射性物質の放出を伴う事故が発生しました。事故からすでに 2 年が経過していますが、いまだに放射性同位元素は土壌や植物などに残存しています。このような状況が続く中で一般住民が不安を感じている「低線量被ばくの影響」について、判りやすく解説します。

講義の内容：

1. 結核および結核対策の基礎
  - 結核症の「感染」と「発病」
  - 感染防御および発病予防
  - IGRA 検査
  - 日本版DOTS 戦略
  - 結核症の胸部エックス線写真所見
  - 院内施設内感染対策
  - 効果的なハイリスク対策
2. 低線量被ばくの考え方
  - 放射線防護の基礎知識
  - 原発事故の概要
  - ICRP2007 年勧告
  - 低線量被ばくの影響

参加対象者への呼びかけ：

一般医療機関の技師にも有用な内容を含んでいるため、保健所だけでなく地域内の病医院や検診機関にも積極的な参加を呼びかけてくださいますようお願いいたします。

## ○平成 25 年度合同講義(厚生労働省健康局結核感染症課)

テーマ：「結核対策の最近の動向と方向性」

講義内容：

結核対策の今後の方針について解説します。

## ○平成 25 年度医師講義

テーマ：「結核の臨床」

講義目的：

結核の診断治療の分野においては、新しい医療基準が施行された後の現状と残された課題が話題となっています。特に、当所への診断の遅れに関する相談および研修会講師の依頼が増えてまいりました。そこで、事例を提示しながら早期診断について講義を進めてまいります。併せて、分子疫学研究の動向について紹介し、各検査方法に関する理解を深め、正しい利用方法の普及につなげる予定です。

講義内容：

- ・ 結核の診断および治療の基本
- ・ 結核診療における抗酸菌検査の役割
- ・ 新しい検査法、治療薬（基本を踏まえて）
  - IGRA の臨床応用
  - LAMP 法
  - 薬剤耐性遺伝子検査等
- ・ 診断、治療が難しかった事例の提示

## 講義内容

### ○平成 25 年度合同講義(Ⅰ・Ⅱ：結核研究所)

テーマ：新しい知見に基づいた結核対策

Ⅰ「結核の基礎と最新の知見を中心に」

Ⅱ「これからの結核対策を中心に」

講義の目的：

各自治体では結核制圧へ向けた対策が進められ、結核の罹患率は緩やかではあるが減少してきています。罹患率の減少に伴い、最新の情報・技術に基づいた効率的な結核対策が求められてきます。これからの結核対策の方針について一緒に考えていきたいと思えます。同時に、結核対策の基本や結核の最新の疫学状況についてもお伝えいたします。

講義内容：

1. 結核の基礎知識
2. 結核の疫学状況
  - 結核の統計 2013 年度版
3. 新検査技術・結核治療薬最新情報
  - IGRA
  - LAMP 法
  - 新薬開発状況
  - その他
4. 新しい知見に基づく対策
  - 1) 病原体サーベイランス
    - 全国薬剤感受性調査の実施
  - 2) BCG
    - 接種推奨時期の見直し
  - 3) 潜在性結核感染症 (LTBI) 治療
    - 全国調査の結果
    - 接触者健診
    - 免疫抑制者
    - 医療従事者のスクリーニング
  - 4) 医療提供体制
  - 5) 院内・施設内における結核対策新ガイドライン
5. 結核制圧に向けた対策
  - 1) リスクグループへの対策
    - 社会経済的弱者 (ホームレス等、矯正施設)
    - 高まん延国出身者/ 外国人
    - 糖尿病
    - HIV/AIDS
    - 喫煙者
  - 2) DOTS の推進 (日本版 DOTS 戦略の改正)
  - 3) 地域連携の強化
  - 4) 分子疫学調査・研究